

トルコ・イズミル

公用語：トルコ語

通貨：トルコリラ (1トルコリラ=約8円)

時差：約6時間 (日本より6時間遅れ)

所要時間：約13時間 (羽田空港→イスタンブール空港→アドナン・メンデレス空港)

手続き

~渡航前~

メールや大学サイトのフォームで入学書類等の提出をし、学生寮の費用は海外送金サイト Wise を利用して振込をしました。メールでのやり取りの中で返信がなかなか来ないことが多かったため、根気強さや寛容な心が必要でした。

~渡航後~

・履修登録

留学生は1週間遅れでの授業開始でした。登録はサイトから行いますが各授業に定員が設けられているため、後発の私たちは希望する授業が取れない可能性もありました。

・İzmirim Kart

イズミルの交通機関利用の際に必須のICカードです。チャージ式ですが学生申請をすると格安になります (バス1回乗車で約18円など)。

・保険

イカメット発行のために新たに保険に加入する必要がありました。保険会社へ行き約6,000円で加入することができました。

・イカメット

トルコに90日以上滞在する場合に必須となる滞在許可証です。サイトでアプリケーションフォームを登録し、後日面接を行います。面接は保険などの書類確認が主ですが、指定書類以外の提出を求められ後日出直しました。面接官によって対応に差があるようです。

◎学校外の諸手続きに関しては学校側のサポートは無く全て自力で行いました。

学校

・授業

基本的に英語で行われ、現在は Sociology, Academic English, Turkish の授業を履修しています。私の英語力では完全に理解できない部分も多いので、予習復習が人よりも必要だと日々感じています。また日本語の授業も行われているので時々参加しています。

・寮

文芸大の友人との2人部屋です。設備として2段ベッド・机・冷蔵庫・シャワー・トイレ・洗面台・クローゼットがあります。また寮全体で共用の洗濯機・乾燥機・キッチンもあります。学校の敷地内にあるので利便性は高いと思います。

生活

・言語

学校以外では英語がほとんど通じない環境なので生活に必要なトルコ語から覚えるようにしています。しかしトルコの方は親切なのでジェスチャーでの意思疎通も図ってくれます。

・環境

渡航してから毎日晴天ですが日本に比べて乾燥しており、喉に違和感があったり髪が乾きやすかったりします。水道水は飲むことができないので5リットルほどの水のボトルを買ってストックするようにしています。また開発中の場所が多かったり街中での喫煙が認められていたりするので、空気はあまり良くないです。

・食事

トルコ料理は世界三大料理と言われているだけあって基本的には美味しいですが、たまに味が濃く油っこいものもあります。物価的には日本より低価格なものが多いです。個人的にはパンとヨーグルトがとても安くて美味しいので、ほぼ毎日食べています。

その他

・日本語学校

JIKAD（日本イズミル文化友好協会）の日本語教室やイベントに行っています。私は文芸大で日本語教師養成課程を履修しているので、日本語教育の現場に参加できる貴重な機会になっています。生徒の方々の年齢層は幅広く、日本語を勉強する理由を様々で大変興味深いです。日本語の難しさを感じるとともに日本の良さも再認識しています。

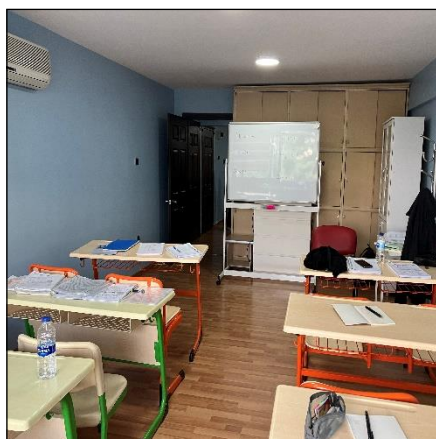
終わりに

1ヶ月が経ちトルコでの生活に少しずつ慣れてきましたが、日々周りの方々に助けられており本当に有り難いです。今回は留学の概要がほとんどになってしまったので、次回はより詳しくトルコや日々の生活について報告できればと思っております。

イズミル経済大学



日本語教室



ピデ（トルコ風ピザ）

